

平成28年度独立行政法人 労働政策研究・研修機構に関する
評価アンケート調査実施概要

1. 調査目的

本調査は、労働政策研究・研修機構の第2期中期目標、中期計画において、「有識者等を対象としたアンケート等を通じて、業務運営及び成果に対する意見及び評価を広く求めるとともに、これを各事業部門へフィードバックし、業務運営の改善に資する」、「労働政策研究の成果や機構の事業活動全般についての有識者を対象としたアンケート調査を実施し、3分の2以上の者から研究成果が有益であるとの評価を得る」との目標に基づき、労働分野の有識者等を対象に機構に対する意見及び評価を広く把握し、その結果を業務改善等に反映することで、適正で質の高い業務運営の確保に資するとともに、厚生労働省独立行政法人評価委員会のための基礎資料とすることを目的として実施したものである。

2. 調査実施項目

- ・調査票発送：平成29年2月8日（水）
- ・調査票締切：平成29年3月3日（金）

3. 調査対象（ ）内は昨年度

・学識経験者	： 1, 084名	(1, 080名)
・地方行政官	： 283名	(282名)
・労働組合	： 273名	(277名)
・使用者	： 284名	(285名)
合計	： 1, 924名	(1, 924名)

4. 回収率

604件（回収率：31.4%） *昨年度610件（回収率：31.7%）

5. 委託先

株式会社サーベイリサーチセンター

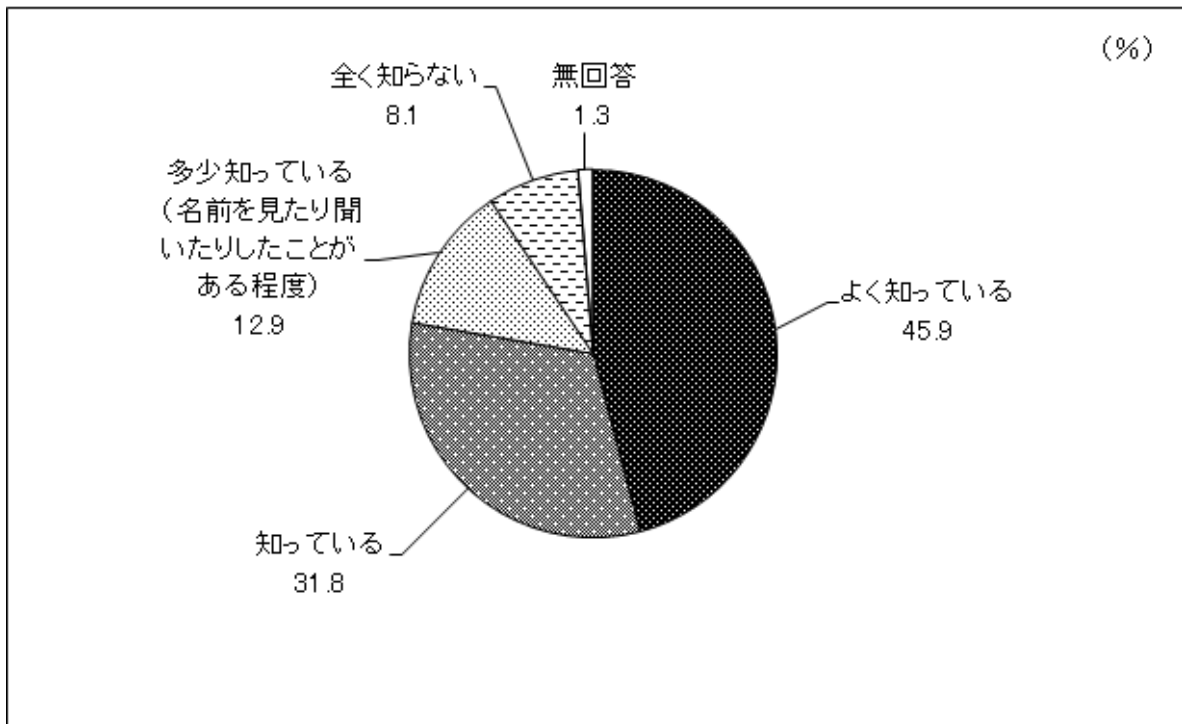
6. 結果

<当機構の事業活動全般について>

問1 労働政策研究・研修機構（以下「機構」といいます。）をご存知ですか。

1. よく知っている
2. 知っている
3. 多少知っている（名前を見たり聞いたりしたことがある程度）
4. 全く知らない

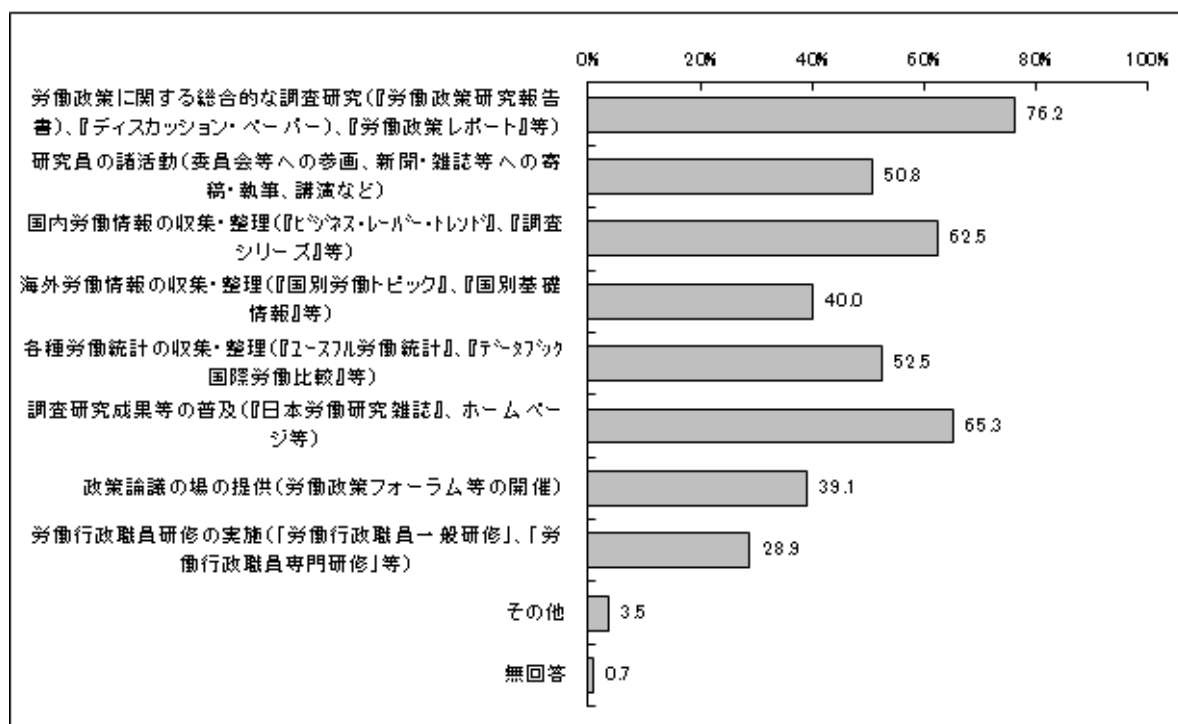
（認知率）604人中 認知率 77.7% 昨年度 78.7%



調査数	よく知っている	知っている	多少知っている	全く知らない	無回答
604(件)	277	192	78	49	8
100(%)	45.9	31.8	12.9	8.1	1.3

問2 機構のどのような活動をご存知ですか。あてはまる番号すべてに○を付けて下さい。

1. 労働政策に関する総合的な調査研究（『労働政策研究報告書』、『ディスカッション・ペーパー』、『労働政策レポート』等）
2. 研究員の諸活動（委員会等への参画、新聞・雑誌等への寄稿・執筆、講演など）
3. 国内労働情報の収集・整理（『ビジネス・レバートレンド』、『調査シリーズ』等）
4. 海外労働情報の収集・整理（『国別労働トピック』、『国別基礎情報』等）
5. 各種労働統計の収集・整理（『ユースフル労働統計』、『データブック国際労働比較』等）
6. 調査研究成果等の普及（『日本労働研究雑誌』、ホームページ等）
7. 政策論議の場の提供（労働政策フォーラム等の開催）
8. 労働行政職員研修の実施（「労働行政職員一般研修」、「労働行政職員専門研修」等）
9. その他（ ）

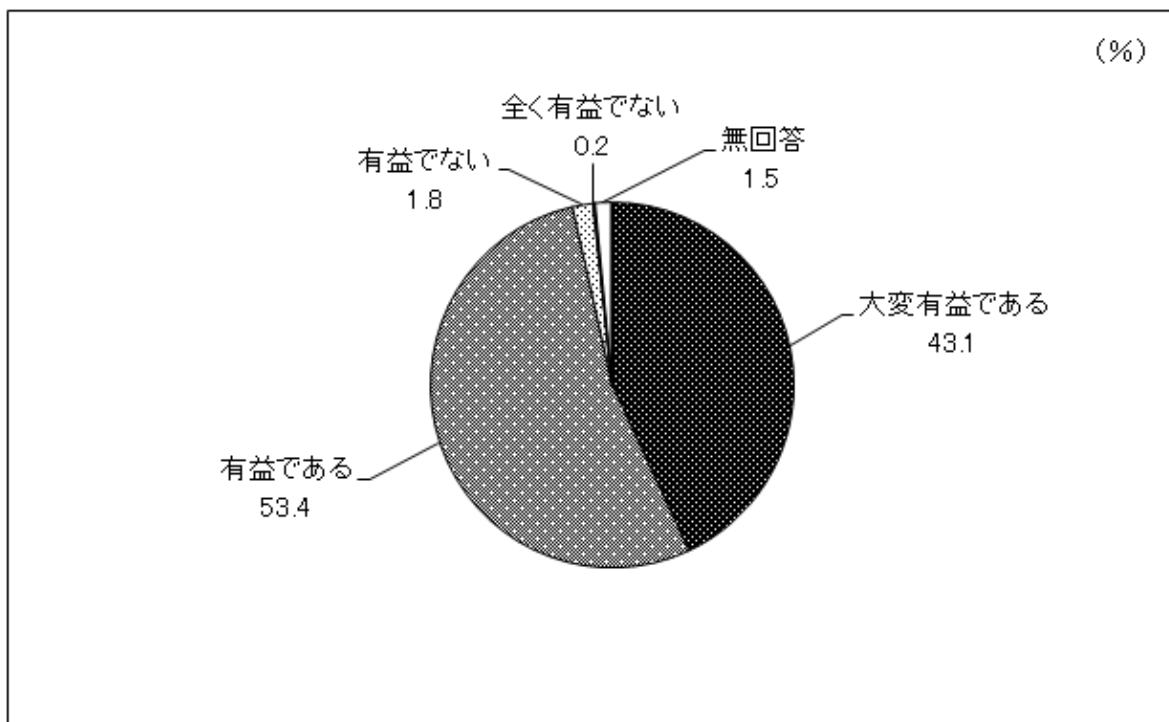


調査数	労働政策に関する総合的な調査研究	研究員の諸活動	国内労働情報の収集・整理	海外労働情報の収集・整理	各種労働統計の収集・整理	調査研究成果等の普及	政策論議の場の提供	労働行政職員研修の実施	その他	無回答
547(件)	417	278	342	218	287	357	214	158	19	4
100(%)	76.2	50.8	62.5	40.0	52.5	65.3	39.1	28.9	3.5	0.7

問3 機構の活動を総合的に判断した場合、どのように評価しますか。あてはまる番号に一つだけ○を付けて下さい。

1. 大変有益である
2. 有益である
3. 有益でない
4. 全く有益でない

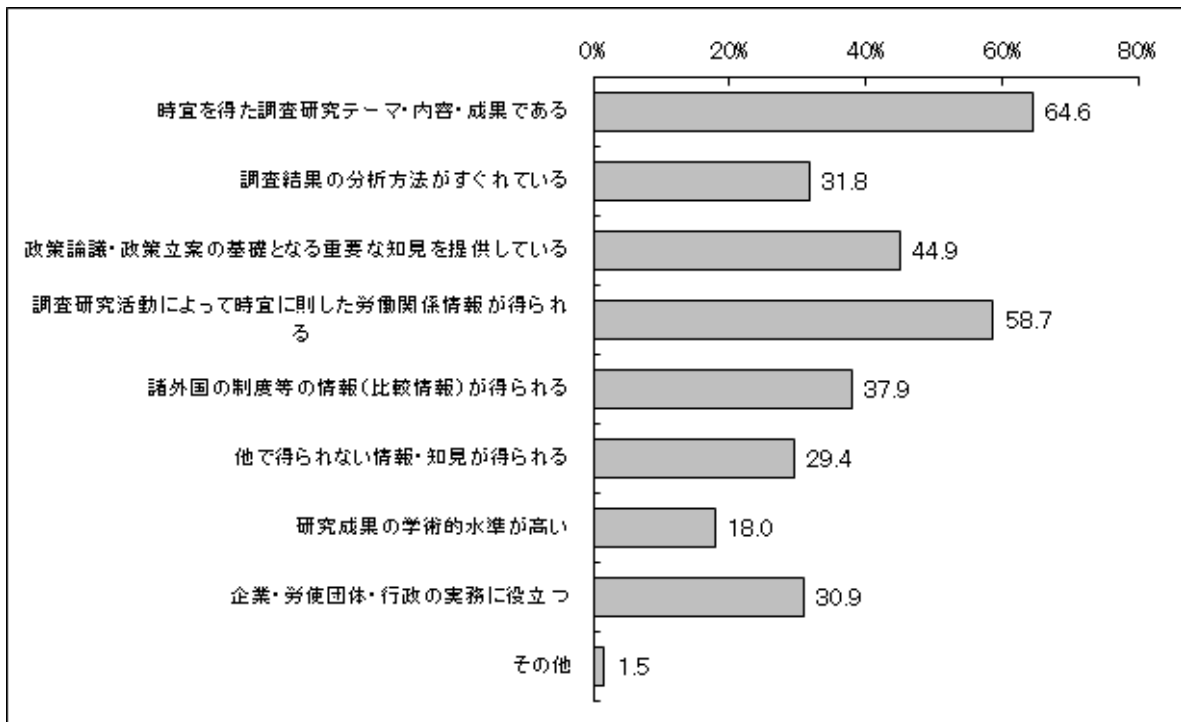
(有益率) 547人中 有益率 96.5% 昨年度 96.9%



調査数	大変有益である	有益である	有益でない	全く有益でない	無回答
547(件)	236	292	10	1	8
100(%)	43.1	53.4	1.8	0.2	1.5

問4 問3で「大変有益」「有益」と回答された方に伺います。そのように判断した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○を付けて下さい。

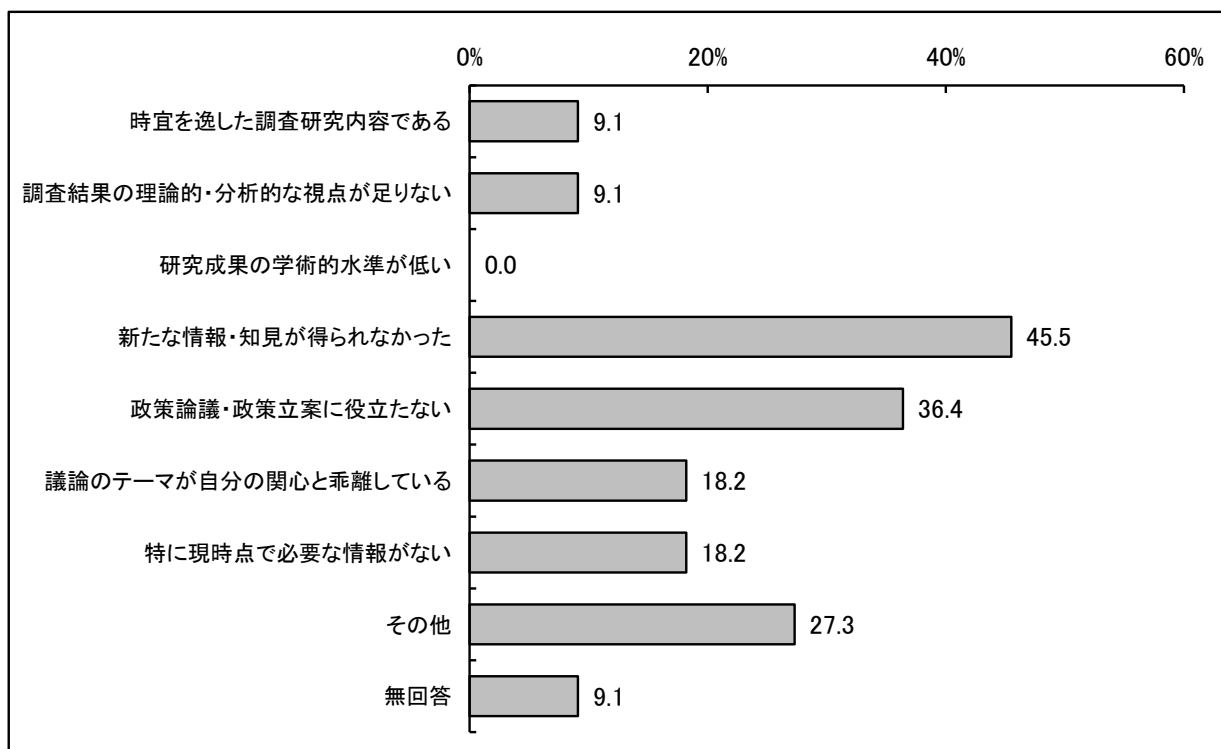
1. 時宜を得た調査研究テーマ・内容・成果である
2. 調査結果の分析方法がすぐれている
3. 政策論議・政策立案の基礎となる重要な知見を提供している
4. 調査研究活動によって時宜に則した労働関係情報が得られる
5. 諸外国の制度等の情報（比較情報）が得られる
6. 他で得られない情報・知見が得られる
7. 研究成果の学術的水準が高い
8. 企業・労使団体・行政の実務に役立つ
9. その他（ ）



調査数	あるテーマを得た内容調査成果で	時宜を得た調査研究で	すぐれた結果の分析方法が	調査結果の分析が	基礎となる重要な知見の	政策論議・政策立案の	情報に則した労働関係	調査研究活動によって	諸外国の制度等の比較情報	他で得られない情報・知見	研究成果の学術的水準	企業・労使団体・行政	その他
528(件)	341	168	237	310	200	155	95	163	8				
100(%)	64.6	31.8	44.9	58.7	37.9	29.4	18.0	30.9	1.5				

問5 問3で「有益でない」「全く有益でない」と回答された方に伺います。そのように判断した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○を付けて下さい。

1. 時宜を逸した調査研究内容である
2. 調査結果の理論的・分析的な視点が足りない
3. 研究成果の学術的水準が低い
4. 新たな情報・知見が得られなかった
5. 政策論議・政策立案に役立たない
6. 議論のテーマが自分の関心と乖離している
7. 特に現時点で必要な情報がない
8. その他 ()



調査数	時宜を逸した調査研究内容である	調査結果の理論的・分析的な視点が足りない	研究成果の学術的水準が低い	新たな情報・知見が得られなかった	政策論議・政策立案に役立たない	議論のテーマが自分の関心と乖離している	特に現時点で必要な情報がない	その他	無回答
11(件)	1	1	-	5	4	2	2	3	1
100(%)	9.1	9.1	-	45.5	36.4	18.2	18.2	27.3	9.1